

技能五輪・自動車工職種で日本一 下原さんが母校・大分工高で報告

世界で「金」決意

第54回技能五輪全国大会の自動車工職種で日本一に輝いた下原佑也さん(20)＝神奈川県横須賀市在住＝が10日、母校の大分工業高校(大分市、安野豊治校長)で在校生に優勝を報告した。



全校生徒の前で自身のことや大会での競技の様子について話す下原さん。大分市の大分工業高校。

下原さんは宇佐市出身。同校電気科を卒業後、2015年4月に日産自動車に入社。技能五輪などでの優勝を目指して訓練に励む専門チームに所属している。

報告会では、入社までの経緯や全国大会の様子をビデオ映像を交えて紹介。自動車の知識のないまま日産の技能五輪チームに内定し、インターネットで調べたり、友達や先生に教えてもらったこと、入社後も指導員が「一から教えてくれたことなどを話した。「入社1年目に出場した前回大会で優勝を逃した悔しさを忘れず、金メダルを取ることをだけを考えてきた。優勝できた時は今まで頑張ってきた良かった」と話した。

「初心に戻りコツコツと」

下原さんの高校時代の話などに聞き入る生徒たち



「たと思った」と振り返った。今年10月には、アラブ首長国連邦(UAE)で開かれる技能五輪の国際大会に日本代表として出場する。「国際大会に向けてまだ学ぶことも多い。初心に戻りコツコツとやっていき、世界でも金メダルを取りたい」と決意を語った。

全校生徒約800人が熱心に話を聞いた。生徒会長の安部昂さん(機械科2年・顔写真)は「技能五輪で優勝するため、すごく努力したと思う。自分も見習って今後の進路に向けて頑張りたい」と気持ちを新たに話した。

(玉井美智子)